

たんぽぽだより

2026.5

始良市立加治木幼稚園

Tel:62-2502

Fax:62-2524

「当たり前」のこと・・・

加治木幼稚園長 川畑 敏彦

ゴールデンウィークも事故等もなく無事に終わり、子供たちの日常もかえってきました。りす組さんたちも少しずつ毎日の園生活に慣れてきた様子で、日々の成長が見られます。毎朝、いろいろなことを話してくれる子供たちを見ていると、嬉しくなります。話したいことや伝えたいことがいっぱいあるのでしょう。自分の思っていることを相手に伝えられることは大切にしていきたいものです。時間はかかるかも知れませんが、家庭でもじっくり聞いてあげてください。

さて、私事になりますが、現在、86歳になる母が施設にいます。一昨年度までは一人暮らしでしたが、歳とともに目が・・・、耳が・・・と様々な症状を訴えるようになりました。その度に病院へ連れて行きますが、どこも悪いところはありません。これから先、何かあったら大変、と施設への入所を勧めましたが、最初は断固拒否。しかし、今では「ご飯が美味しい」「今日はお誕生会があった楽しかった」など話をしてくれます。楽しく過ごしているようで、よかったなと思います。

「子供がえり」と言う言葉がありますが、まさしくそのような状況だったのでしょうか。「子供がえり」はどの年代にも起こる現象で、ストレスがかかった時の防衛反応の一つとして起きるのだそうです。これは、悪い防衛反応ではなく、良い防衛反応だと言われ、子供がえりを発動するには、条件があります。

それは、子供の時に、養育者(主に母親)との関係の中で、いい思い出があることだそうです。子供の時に幸せだったと記憶、感覚が無意識にあると、その幸せだった時に戻りたいという感覚が現れるのだそうです。

『人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ』の著者ロバート・フルガムさんは、「人生の知恵は、大学院という山のてっぺんにあるのではなく、幼稚園の砂場に埋まっていたのである。

- 何でもみんなで分け合うこと
- するいことをしないこと
- 人をたたかないこと
- 使った物は必ず元の場所へ戻すこと
- 散らかしたら自分で片付けをすること
- 人のものをとらないこと
- 誰かを傷つけたら「ごめんなさい」ということ
- 食事の前には必ず手を洗うこと
- 「不思議だな」と思う気持ちを大切にすること

私はそこで何を学んだろうか。」と言っています。そして、そこで学んだこととして以下のことを挙げています。

- ここに挙げられていることは、シンプルなことばかりですが、とても大切なことです。「人生で大切なこととは何か」を考える時、難しいことではなく、ここにあるような当たり前のことが当たり前に行える事こそ、必要なことなのではないでしょうか。

幼稚園でも、この「当たり前」のことを繰り返し、何回も、できるようになるまで指導しています。

大切なのは、「できるようになるまで、繰り返し」続けることです。そして、幼稚園だけでなく、家庭でも同じベクトルで指導していくことが大切です。

「当たり前」のことについて、ぜひ家庭でも話し合ってみてください。



【4・5月の行事紹介】

＜親子読書会「ぐるんぱ」＞ 5月21日
楽しい時間ありがとうございました！



5月21日今年度初めての「ぐるんぱ」がありました！読み聞かせや人形劇など工夫がいっぱいで、子供たちも真剣な表情で見入っていました。



子供たちの真剣な目差し！！

はらぺこあおむしが、大きなちょうちょになって、びっくり！



＜親子一日遠足＞ 4月28日ビーラインスポーツパーク



今年は、ビーラインスポーツパークで実施しました。天候にも恵まれ、親子レクや遊具で遊び、親子でお弁当を食べながら、春の一日を過ごしました。子供たちも良い思い出になったことでしょう！

＜子どもの日の集い＞ 5月1日



りす組さんも自分の思いを、みんなの前で発表することができました！



～自然体験が豊かな子供ほど 後の人生が充実する～



玉ねぎの収穫・ミニトマト植え・ダンゴムシ探しに夢中！

自然体験の中には様々な「学び」があり、経験したことは自分の力になる。